

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】令和4年6月7日(2022.6.7)

【国際公開番号】WO2021/053877
 【出願番号】特願2021-546501(P2021-546501)

【国際特許分類】

G 0 1 N 1 5 / 0 8 (2 0 0 6 . 0 1)

G 0 1 N 3 5 / 0 8 (2 0 0 6 . 0 1)

G 0 1 N 3 7 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

G 0 1 N 1 3 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)

C 1 2 Q 1 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

G 0 1 N 1 5 / 0 8 A

G 0 1 N 1 5 / 0 8 C

G 0 1 N 3 5 / 0 8 A

G 0 1 N 3 7 / 0 0 1 0 1

G 0 1 N 1 3 / 0 4

C 1 2 Q 1 / 0 2

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月15日(2022.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の流路と第2の流路との間に挿入された多孔膜の透過性の評価方法であって、
 前記第1の流路に供給圧力を変化させながら液体を供給した場合の、前記第2の流路に
 収容された液体に生じる変化を前記多孔膜の透過性の評価指標として取得する
 評価方法。

30

【請求項2】

第1の流路と第2の流路とを隔てる多孔膜の透過性の評価方法であって、
 前記第1の流路内の液体に圧力を供給し、前記第2の流路に収容された液体に生じる変
 化を前記多孔膜の透過性の評価指標として取得することを含み、
 前記第1の流路に供給される液体に蛍光体を含め、
 前記第2の流路を流れる液体に含まれる蛍光体から放射される光量の経時変化を前記評
 価指標として取得する
 評価方法。

40

【請求項3】

第1の流路と第2の流路とを隔てる多孔膜の透過性の評価方法であって、
 前記第1の流路内の液体に圧力を供給し、前記第2の流路に収容された液体に生じる変
 化を前記多孔膜の透過性の評価指標として取得することを含み、
 前記第1の流路に供給される液体に特定成分を含め、
 前記第2の流路を流れる液体に含まれる前記特定成分の濃度の経時変化を前記評価指標
 として取得する
 評価方法。

【請求項4】

50

第 1 の流路と第 2 の流路とを隔てる多孔膜の透過性の評価方法を用いた細胞の評価方法であって、

前記第 1 の流路内の液体に圧力を供給し、前記第 2 の流路に収容された液体に生じる変化を前記多孔膜の透過性の評価指標として取得することを含み、

前記多孔膜の表面に評価対象の細胞を培養した状態において取得した前記評価指標を、前記評価対象の細胞が、前記第 1 の流路に供給される液体の前記第 2 の流路への漏洩を阻止する性能の指標として取得する

評価方法。

【請求項 5】

第 1 の流路と第 2 の流路とを隔てる多孔膜の透過性の評価方法を用いた薬剤の評価方法であって、

前記第 1 の流路内の液体に圧力を供給し、前記第 2 の流路に収容された液体に生じる変化を前記多孔膜の透過性の評価指標として取得することを含み、

前記多孔膜の表面に細胞を培養し、前記細胞を評価対象の薬剤に晒した後に取得した前記評価指標を、前記評価対象の薬剤の前記細胞に対する毒性の指標として取得する

評価方法。

【請求項 6】

第 1 の流路と第 2 の流路とを隔てる多孔膜の透過性の評価方法であって、

前記第 1 の流路内の液体に圧力を供給し、前記第 2 の流路に収容された液体に生じる変化を前記多孔膜の透過性の評価指標として取得することを含み、

前記第 1 の流路及び前記第 2 の流路を有するマイクロ流体デバイスを用いる

評価方法。

10

20

30

40

50